

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」刈谷校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		
	②	職員の配置数は適切である	8	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	4	一時期スロープ等を設ける工夫も行いましたが、他施設との共同スペースともあり定期的に設けることは難しい部分もありました。	(2024年4月に移転予定) これに伴い、バリアフリーな環境にしていく予定です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	常に毎朝定期的な掃除を行っています。消毒液の位置が高すぎるのではないかと指摘がありました。	消毒液の高さに関しては設置スペースとの関係もあり難しい部分があります。(2024年4月移転予定で改善出来ればと思います)
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		朝礼などのミーティングで報連相を徹底し情報共有の漏れがないようにします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		全てを実現できているかというそうとは言い切れないので、1つでも実現出来るよう協力をしていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		ホームページで公開はしていますが、情報が共有されていないことがあったので、情報共有できるようにします
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		第三者評価に関しては今後設置できるように検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		対象となる研修の共有が出来ていない時があるとの指摘がありました。→報連相の徹底を再度行います。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	保護者からの定期的な聞き取りや支援の様子等を踏まえて計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		会社内で定めたアセスメントツールを用いています。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		個別で行っている場合もある。→これに関しては再度活動プログラムに関しての確認を指導員全員で行うように改善します。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	4		小集団の活動はイベント時以外行っていないので、今後支援の中で出来ないか検討してまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3	定期的に支援の様子を話し、対応するようにしています。	児発管からの報告がない場合がある。→指導員と児発管の打ち合わせの上再度徹底をしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	定期的に支援の様子を話し、対応するようにしています。	児発管からの報告がない場合がある。→指導員と児発管の打ち合わせの上再度徹底をしていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児発管と利用者の担当者が出席をしています。場合によってはより伝わりやすいように教材等を持ち込む時もあります。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	5		現在医療的ケアや重症心身時の利用者はいません。（2023年12月現在）
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	6		現在医療的ケアや重症心身時の利用者はいません。（2023年12月現在）
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		お子様によっては情報が下りてこない、連携に非協力的な部分もありますので全員協力できるように働きかけていきます。

	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		お子様によっては情報が下りてこない、連携に非協力的な部分もありますので全員協力できるように働きかけていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3		研修の機会を増やし、支援員の支援の質の向上努めてまいります。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8		横との連携も今後密にするため、今後検討をしていきます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5		年に数回ではありますが、地域で開かれるイベントの方に参加をしている→回数を増やしていけるようにしていきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	支援終了後にフィードバックや保護者からの悩みを聞く場を設けるようにしています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	3	必要に応じて事業所内相談を行っています。	今後「きらり」として保護者の悩みを聞く場を設け、きらり以外での対応も充実できるように努力していきます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	規定については専門用語をなるべく避け、保護者に納得していただくような説明をしています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者からの悩み等をミーティングで情報共有し、対応方法を職員全員で考えています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		全く行われていない→現状は環境などの要因により開催が難しい状況にあるが、移転後は開催できるように検討していきます。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	スケジュールの相談については慎重に判断し、該当職員に共有の上、すぐに返事が出来る体制にしています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		重要な連絡はこちらから会報を出していますが、それ以外の情報も出していけるようにします。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	個人情報のファイルに関しては鍵付きのロッカーに厳重に管理を、また外部では内部の情報を	

				決して漏らさないように徹底しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	事業所としての行事が開かれていないことが多い。→今後開かれるように検討します（2024年4月井連予定）
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	訓練に関しては防災以外のほかにもできると良い→起こり得ること（例：嘔吐時の対応等）も出来るように改善していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	4	最低限行っているものもう少し頻度を上げられるように検討します。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	3	保護者から契約時にその状況を確認するようにしていますが、全員のお子様に再度確認をし、徹底致します。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6	個別で食事に関することは聞いていませんが、万が一の時のために備えて聞くように改善致します。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	起こった要因を職員全員で考え、同じ過ちをおこさないように環境の整備に努めています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	虐待防止研修は義務化されていますので、最低限行ってはいますが、さらに指導員に意識してもらうように研修の機会を増やしてまいります。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	契約時に分かりやすい例を用いりながら保護者に説明をしています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」刈谷校 保護者等数（児童数）：20名 回収数：19名 割合：95%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	3		分からないという意見が何名か見られましたので、再度契約時等に簡単に説明をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	3	0	2		（2024年度4月移転予定）新しい事業所に置いては改善できるようにします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	2	0	1	壁紙の素材がポロポロと落ちてしまう。（3番）	→壁紙の素材についてご迷惑をおかけしております。再度徹底をさせていただきます。（2024年度4月移転予定）
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1	0	0	担当の方によって計画に沿った支援なのか不明。目的が不明なことも。	→計画は事前に確認していますが、フィードバック時に目的を伝えるなどの工夫をしていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	1	0	0	大きく変えることがベストでもないと思うので子どもに合った指導内容だと思います。	→お客様の当日のコンディションにスタッフが合わせながらプログラムを調整させていただきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	5	7	そもそもこのような機会を設けているのか？	→立地の関係や時間帯で行うことが難しい状況になっています。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	1	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	3	2	7		今後こちらの方にも力を入れていき、より質の高いプログラムを実現します。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	3	1	2	(未回答者あり) 定期的ではない。	→フィードバック時以外でも事業所内相談等を設けて助言などをしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	11	8		→時間帯は立地条件などによりなかなか開催できないことがあります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	1	3	(未回答者あり)	→「いいえ」の回答がありました。どこに問題があったかを職員で共有し、改善に当たります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0	0	(未回答者あり)	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	3	0	7		→「ホームページがどこにあるのかわからない」という意見もありましたので皆さんに周知していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	2	0	0		→特に個人ファイルは厳重に管理をしています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	2	1	5		→会報など通して防災マニュアルを保護者の目の届く位置に置き徹底してまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	0	11		→時間帯が合わずに参加できなかった方もいらっしゃるので広く周知をしていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	0	その日の気分による時もある。	→気分が進まない時はプログラムを一部変更し、楽しかったと思えるような工夫をしています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	19	0	0	0	日々楽しみにしており、毎日行きたそうにしています。目に見えて成長する様子が見られてとても感謝しています。	→嬉しいご意見ありがとうございます。今後も「きらりてよかった」と思えるような支援を続けてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。